

施策評価調書(28年度実績)

施策コード Ⅲ-2-(2)

政策体系	施策名	芸術文化ゾーンを核としたネットワークづくり	所管部局名	企画振興部	長期総合計画頁	151
	政策名	芸術文化による創造県おおいとの推進	関係部局名	企画振興部、国民文化祭・障害者芸術文化祭局、教育庁		

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	芸術文化ゾーンを核とした取り組み	芸術文化の創造性を生かした行政課題への対応	創造性を生かした地域づくりの推進

【Ⅱ. 目標指標】

指	標	関連する取組No.	基準値		28年度			31年度	36年度	目標達成度(%)											
			年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125							
i	子どもたちが芸術文化に触れる機会(児童生徒数)(人)	①②③	H26	11,896	12,136	12,413	102.3%	12,500	13,100												

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理由等	平均評価
i 達成	県立美術館での鑑賞学習(小学生対象)や教育普及事業、NPO法人大分県芸術文化振興会議が実施する文化キャラバン、公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団が実施するピノキオコンサート等による芸術家のアウトリーチ活動により、目標値を達成した。	達成

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・芸術文化ゾーンと周辺商店街が連携したイベント「HEart of Christmas」等を昨年度に続き開催。また、オートポリス復興支援イベントでは、同時開催として周辺商店街でビンテージカーの展示を行い、回遊性を高めたことで、周辺地域が賑わった。
②	・障がい者による作品展示や演劇などを全国障害者芸術・文化祭のキックオフイベントとして県立美術館で開催したほか、アーティストを福祉施設へ派遣し、音楽やダンス、美術のワークショップを行うことで、施設利用者が生き生きとした活動を行うことができた。 ・アクティブ・ラーニング美術教育推進事業により、18市町村33校46学級の小学生(1,053人)が美術館を活用し、対話形式による主体的な鑑賞授業を実施した。 ・小学生を対象とした古代アート体験のワークショップを開催(参加者24人)することで、歴史・文化に触れる機会を創出した。
③	・別府市のアートプロジェクト(In Beppu、ベップ・アート・マンス)や、竹田アートカルチャーなどを国民文化祭のキックオフイベントと位置づけ、同時期に開催することで、芸術文化振興と観光・地域振興の一体的な推進を図ったほか、地域のアートプロジェクト等に係る調査・研究、評価体制を整備した。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(28年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	29年度の方向性	
①	芸術文化ゾーン拠点創出事業	93,825	B	継続・見直し	31
②	全国障害者芸術・文化祭開催準備事業	12,831	A	継続・見直し	203
	おおいた文化のひろば創造事業	22,301	A	継続・見直し	225
②③	創造県おおいた推進事業	57,472	A	継続・見直し	32

【VI. 施策に対する意見・提言】

○大分県文化振興県民会議(H28.8) ・芸術文化ゾーンを拠点として広範な団体とのネットワーク構築にあたっては、民間の団体、福祉や教育など異分野の人たちがつながるようなネットワークづくりにしていただきたい。 ・障がい者アートについて、施設などに所属している障がい者の作品は発表しやすいが、在宅の方も発表の機会を確保してほしい。また、障がい者というくくりをどこでするか。芸術だから壁をつくらなくてもいいという考え方もある。	○大分県文化振興県民会議(H29.2) ・いろいろな文化事業が一過性のイベントにならないようにしてもらいたい。継続した取り組みとして残り、それがカルチャーツーリズムやいろんなまちづくりや社会的課題解決につながるようにやっていただきたい。 ・「創造県おおいた大報告会」でいろんな人たちが取り組みを発表したが、時間が短いので、もっと拡大し、お祭りのようにやってみてはどうか。
--	---

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・大分県立美術館とiichiko総合文化センターを芸術文化ゾーンとして、県内各地の様々な取り組みとの連携を深め、ネットワークの構築を図るとともに、芸術文化の創造性を活用した教育、産業、福祉分野の取り組みを進める。 ・「芸術文化による創造県おおいた」を目指し、核となる人材の発掘・育成を行うとともに、県内各地のアート拠点や団体等と連携し、アートイベントや情報発信などを行うことで、芸術文化の創造性を生かした地域づくりを推進する。 ・H30年度の「第33回国民文化祭・おおいた2018」「第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会」に向け、地域特性に応じた5つのブロック毎のテーマに沿って実施する市町村リーディング事業の開催準備・支援などを進める。 ・芸術文化ゾーンだけでなく県内各地域で文化体験ワークショップを開催し、より多くの子どもたちが芸術文化に触れる機会の充実を図る。